



2026年度 手話言語の国際デー・手話の日 霞ヶ浦ふれあいランド 虹の塔 ブルーライトアップ



毎年9月23日に行われる「手話言語の国際デー」は、2017年に国連総会で決議され、国内においても2025年6月25日の手話施策推進法成立に伴い、9月23日は「手話の日」になりました。

行方市では、2023年(令和5年)12月21日、「手話言語の普及に関する条例」が制定され、施策の推進の一つとして、＜手話の理解及び普及＞に努めており、また、＜市民が手話への理解を深め、ともに支え合う地域社会を実現する＞ことを目指しています。

2026年(令和8年)9月23日「手話の日」にあわせて、きこえない・きこえにくい人ときこえる人が一つになる瞬間を共有するイベントとして、霞ヶ浦ふれあいランド 虹の塔をシンボルカラーのブルーでライトアップいたします。

◆日時 2026年9月16日(水)～9月23日(水・祝) 19:00～21:00

◆場所 霞ヶ浦ふれあいランド 虹の塔

☆霞ヶ浦ふれあいランド 虹の塔 ブルーライトアップ点灯式☆

■日時 2026年9月16日(水) 18:45～19:00

■概要 18:45 行方市長あいさつ
鹿行聴覚障害者協会 会長あいさつ
カウントダウン
19:00 点灯
記念撮影



※「手話言語の国際デー」のライトアップは、世界ろう連盟(WED)が推進する世界的なプロジェクトです。

※シンボルカラー(ブルー)は、国連や世界ろう連盟のロゴの色であり、「世界平和」や「手話言語の尊重」を表す青色と決まっています。全世界・全国で一斉に「同じ青色」に染めることで連帯し、「手話は言語である」という認知を広めることが目的です。



お問い合わせ先

行方市社会福祉課 ☎ 0299-55-0111